

2015 APS 7/18・19

25th APS CUP in TOKYO

© 2015 JASG

2015年 / 第25回 APS カップ本大会：ライフルクラス 7.18 (土)・ハンドガンクラス 7.19 (日)

《第25回 APS カップに出場される選手の皆様へ》 日本エアースポーツガン協会からの大切なお知らせ

★レギュレーションブック記載内容の補足説明★

大会当日までに必ず最後までお読みください。
そして記載内容をよく理解し、競技に参加してください。

《カップ当日までにレギュレーションブックを一読してください》

今大会に出場する選手全員にレギュレーションブックを配布しております。

★今大会に初出場する選手は、まずレギュレーションブックに一通り目を通し、当日混乱することなく進行できるよう、ご自分の〔競技時間〕と〔競技順序〕、そして〔レンジ番号〕の3つを確実に把握しておいてください。

★出場経験のある選手におかれましても、今大会は従来大会と異なり、競技動作等に変更がありますので今一度熟読し、よく理解してから競技に挑むようにしてください。



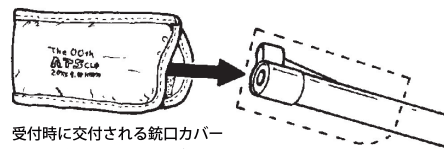
特定非営利活動法人

日本エアースポーツガン協会

2. 安全確保のためのお願い の補足説明 (ブック3ページ)

★**競技レンジ内ではジャッジの指示に必ず従ってください。** ⇒ブック3ページ
【銃の取扱いについて】参照

⚠ **注意：競技レンジ内であってもジャッジの指示があるまでは、銃口カバーを外さないでください。**



受付時に交付される銃口カバー
(※同機能のマイ銃口カバーの使用も可。)

同ローテーション(※ライフルは最大5名、ハンドガンは最大7名)の選手が全員レンジに入り、ターゲットレンジ内の安全を確認した後、メインジャッジが『銃口カバーを外してください』とコールするので、その指示に従い一斉にカバーを外すようにしてください。ジャッジの

コール(：指示)よりも先に銃口カバーを外すとファール行為となります。

《銃口カバーの規定について》協会が交付する銃口カバーと同等の機能を有するものであれば、「マイ銃口カバー」の使用も認めます。マイ銃口カバーを使用する場合は、銃口を完全に塞ぐもので、かつ一目で装着していることが確認できる形状のものを用意してください。

⚠ **注意：銃口(マズル)の向きには常に気を付けてください。**

競技レンジ内で銃を取扱うときでも、銃口がターゲット方向または、自身のレンジ方向の床以外に向かないよう細心の注意を払ってください。特に隣の選手や観客、ジャッジがいる方向に向けることは厳禁です。

ただし、競技レンジ内で銃口カバーを装着して銃口を完全に塞いでいる状態のときに限り、銃口がターゲット方向以外を向くことを許可します。

6. 参加規則 の《★部門別・使用銃に関する規定》の補足説明 (ブック7ページ)

★**弾速が規定値付近に達するギリギリのセッティングは避けてください。** ⇒ブック7-8ページ
【弾速・サイズ等の規定】参照

APS 公式競技会(本大会・記録会・練習会)では、競技開始前の銃検査において、必ず弾速チェックを行っています。弾速チェックは、JASG が用意した測定器と BB 弾を用いて、現に表示された数値を唯一の判断基準とします。パワーアップにつながるカスタム等を行っている選手は、規定値より十分に余裕を持たせた調整を行ってください。今後、弾速が規定値を超える事態が発生した場合、その選手のマスターバッジ剥奪や永久出場停止などの厳罰処分、さらには競技会自体の中止なども検討しています。

競技会に参加される全ての選手は、「フェアプレー精神」と「レギュレーションの厳守」を尊重してください。

★**競技銃本体にある JASG 刻印が目視確認できるようにしてください。** ⇒ブック7-8ページ
【弾速・サイズ等の規定】参照

従来のレギュレーションでも、「JASG 刻印が製品本体にあること」と明記していましたが、これをさらに明確化しました。銃検査時に係員が JASG 刻印の有無を確認しますので、刻印が目視できるようにしておいてください。銃をカスタムしたことで、刻印が隠れて見えないといった仕様は認められません。競技銃の機種によって刻印の場所が異なります。使用銃の刻印の場所を事前に確認しておいてください。